



保育参観ではなく、保育参加。初めてご参加される方は、どのような過ごし方になるのだろうか？と、ドキドキしながら迎えられたのではと思います。子どもたちは、おうちの方がいつ来てくれるのか、指折り数えながら楽しみにしていました。保育参加は、子どもにとって日常であり、非日常でもありますね。ですから、日常そのままの姿、ではないところもあります。でも、子どもたちが日頃、心の居場所を見つけて過ごしている様子や、心ときめかせながら遊んでいる様子をたっぷり感じとっていただけたのでは、と思います。

年少・年中・年長さんの保護者の方は、保育終了後、日頃の保育について、語り合うミーティングにも参加いただきました。担任や、参加保護者の方と、ざっくばらんに語り合う様子がとても温かく映りました。

たんぽぽ組さんは、入園月が異なり、保護者のみなさんが顔を合わせる機会がないこと、子どもたちにとっても、一度に保護者の方に参加していただいたほうが、「待つ」ことをしなくてもいいことから、全員一度での保育参加とさせていただきました。保護者同士と一緒に、子ども一人ひとりを温かく見守ってくださる様子が印象的でした。

保育参加アンケートのご協力、ありがとうございました。いただいた各学年のコメントを、抜粋してご紹介します。

## たんぽぽ組 (満三歳)



参加型の参観は初めてだったので、新鮮で貴重な一日になりました。先生が読み聞かせをしてくれた時に、みんなが、いい子に座って集中して聞いているのを見て、とても微笑ましかったです。



我が子だけに集中して遊べたのは、とても久しぶりでした。みんなとの遊びでも、普段の様子が想像でき、よかったです。親子ともに楽しかったです。

ふれあい遊びでは、無邪気に笑う子どもたちに、私が元気をもらったように感じます。日々の生活の中で、笑ってばかりはいられないのですが、こういう瞬間があるから、いろいろなことが、吹っ飛んじゃうと言いますか…子育てって幸せだなと思えると言いますか…。素敵な時間をありがとうございました。



ほかの子と一緒に遊ぶことはしていなかったですが、自分の遊びをしながらも他の子がどんな遊びをしているのか、観察しているのが印象的でした。少しずつ自分以外にも目を向けることができていると思い、成長を実感しました。



年少～年長さんは、1日に3～4人ずつの参加ですが、たんぽぽ組は、1日で全保護者が集まるということ。我が子にとっては緊張だったと思いますが、私は賑やかなのが楽しかったですし、他の保護者の方たちとの接点がほとんどなかったので、みなさんと顔を合わせることができてとてもうれしかったです。安心もできました。たんぽぽ組での保育参加は、来年もぜひ、全員一緒に保育参加を続けていただきたいと思います。



初めて参加させていただきましたが、楽しかったです。普段、どのように過ごしているのか知れてよかったです。

\*\*\*\*\*

## 未就園のお預かり



すくすくのお部屋で ボランティアさんと過ごしたよ



ボランティアさんがこのような一言を。

「我が子を育てた時は、寝る時に、抱っこしただけでは全然寝ない子でね。授乳しないと、寝ることがなかったんですよ。だから、今日、私の抱っこだけで眠った子どもにとっても感動♡」

「今日、一日が とってもいい日!」と。 ボランティアさん、ありがとうございました。



## 年少組



園生活の様子は、いつも『ぎゅとなび』を楽しみに見っていますが、今日はクラスに入って一緒に過ごしてみても、今、子どもたちが楽しんでいる遊びや、お友だちや先生とのかかわりの様子、お部屋での遊びの環境の工夫など、色々なことを知れて、とてもいい時間を過ごすことができました。本人も「今日ママと一緒に弁当食べたんよ！楽しかった！」と嬉しそうに家族に報告していて、子どもにとっても、やっぱり特別なのだなと嬉しく思いました。



初めて保育参加をさせてもらいましたが、参観ではなく、参加する事で分かる事がいっぱいあるな～と感じました。また、普段は下の子がいるので、二人だけの時間を意識しないと、なかなか取れていなかったのですが、今回、園という外の世界で、娘だけに目を向ける時間を持つことができ、娘が成長しているなど感じる場面も多々あって、慌ただしい生活の中でも、子ども一人ひとりに目を向け小さな気づきを忘れないようにしたいなと感じました。

三歳児は、まだまだ小さい子たちという印象を持っていたのですが、自分からお友だちにかかわっていく姿や、自分で好きな遊びをする中で、自然と友だちと一緒に遊ぶ姿を見て、小さな社会でも、一人ひとりが頑張っているのだなと思いました。また、本人の集団の中での姿は、普段あまり見ることができないので、とても感動しました。



クラスに入って、最初に我が子と目が合った時の笑顔がかわいくて、喜んでいるのがわかり、親の方が嬉しかったです。家では食事中、座って食べられないのですが、幼稚園では、友だちと仲良く話しながら食べて、お弁当の片付けも自分でできて驚きました。家では赤ちゃんなので、何から何まで全て親がしていましたが、これからは家でも少しずつお願いしようと思いました。また、毎日、沢山の工作持って帰ってくるのですが、園で作っているところを見ることができて嬉しかったです。工作中に色々な子どもたちが、作ったものを見せてくれました。作り方を教えてくれる子や、できたものを一生懸命伝えようとしてくれている子など、いろいろな子がいて、どの子もかわいくて、おしゃべりするのが嬉しかったです。

保育参加で、実際に娘がみんなと過ごしている様子を見たり、一緒に遊んだりすることで、幼稚園の楽しさや子どもたちの学びを間近で感じることができて良かったです。また、普段あまりお会いできない保護者の方々と、ミーティングなどでお話ししたりすることができて嬉しかったです。



我が子は、とてもゆっくりお弁当を食べており、同じペースの子たちと、まったりとランチタイムを過ごしました。他のお子さんのお弁当を見ながら、勉強させてもらいました。食べきれないように工夫してあるお弁当、少し苦手な物をひとつだけ入れてあるお弁当、それぞれ、お母さんの愛情を感じ取ることでできました。

少しドキドキしながら保育参加を迎えました。でも、緊張は、息子のニコニコ笑顔とクラスのかわいいお友だちの顔を見て、ふきとびました。我が子はもちろんのこと、クラスみんなが、とてもかわいくて、こんなにあたたかな場所で過ごしていることに嬉しく思いました。また、息子が泣いているときに、何人かの友だちが側に来てくれて、「〇〇ちゃん、どうしたん?」「作りものしたいの?」と心配してくれて、こうやって気持ちを汲み取って優しい言葉をかけれる子どもたちって素敵だなと思いました。



ミーティングでもお話をさせていただいたように、おもちゃの取り合いでの対応、とても勉強になりました。親は、つい、自分の子どもに「貸してあげて」と言ってしまうますが、子どもの気持ちも尊重し、その子のタイミングで譲れるように後押しして待つあげることも大切なんだと感じました。自分の気持ちを、お友だちに伝えられるようになる事も大切ですね。

※初めての保育参加。『お家の人がぼくのわたしの幼稚園に来てくれる』ということが子どもたちは、とてもうれしかったようです。子どもたちの園での遊びや友だちとかかわる様子を見て、成長に驚かれたことと思います。今後も保護者の方とともに、子どもたちの成長を見守っていきます。ご参加ありがとうございました。



## 年中組

お弁当の時の友だちとの会話の内容や、次の遊びやお集りのことを考えて動く様子、また、友だちと話し合っ遊びの内容を決めたり、ルールを守って遊んだり、、、1年間の成長はものすごく早く、とても濃い時間なんだと改めて気づくきっかけになりました。

お弁当の時は、テーブル毎に話題があり、みんなが楽しそうにランチをしているのがほほえましかったです。お外での遊びも自分たちでコミュニケーションをとりながら遊びを展開していて、成長を感じました。



何日も前からすごく楽しみにしていて、当日も私のお弁当は出かける前に作る予定だったのに、「自分がいる朝のうちに作っておかないと、もしかしたら幼稚園に来るのを忘れるかもしれないから」と、朝作ることにしました。登園前にママのお弁当袋と荷物を確認して満足そうにスタートしていきました。お友だちと過ごす姿や、話す姿は新鮮でニコニコかわいかったです。



保育参加では、同じ中身のお弁当を並べて食べながら、普段見ることのできない様子を見れ、とても嬉しかったです。お外遊びでは、日頃うちでよく名前を聞くお友だちとも会え、私も仲間に入れてもらい一緒に遊ぶことができました。みんなそれぞれの得意技を披露してくれて、とても可愛らしかったです。



息子やクラスの子どもたちと一緒に思いっきり園庭を走って遊び、とても楽しい時間を過ごすことができました。どうぶつ将棋を子どもたちが楽しんでいるのが印象的でした。「これはこうやるんだよ!」と教えてくれ、言葉でやりとりする姿にとっても成長を感じました。



工作意欲が芽生えたけど、「こうやって作ってるんだー！」と目の前で見るのができて嬉しかったです。細かい作業は家ではすぐやめちゃうけど、友だちと黙々と三つ編みを編んでいたのは驚きました。



幼稚園での様子(友だちと遊んでいるところ、一緒にお弁当を食べるところ)を見られて、家との違いに驚いたとともに、子どもの成長を感じることができました。



クラスの友だちから、たくさん話しかけてもらいましたが、息子はお母さんを独り占めしたいのか、必死に話したり手を引っ張られ遠くに連れていこうとしたりして、なんだかとても可愛かったです。



ずっと「いつくるの？」と尋ねられ、その都度、カレンダーを確認して「あと何日」と数えていました。家では、お姉ちゃんはじめ、家族に身の回りのことをやってもらう、THE 末っ子ですが、園ではお弁当の片付けなど自分一人ですべてをやって成長を感じるとともに驚きました。

年少の時は、他の子どもたちと話したり遊んだりしたら、泣き出して、へそを曲げていたのですが、今回は他の子どもたちと過ごしても近くで様子見していただけて、周りに配慮できるんだと驚きました。一緒に鉄棒を試みたり、園庭を歩いたり、普段見たことのない積極的な面を見ることができました。



※年中組の保育参加。少しずつ友だち関係が広がってきて、保護者の方も、友だちの一員として、受け入れて遊んでいた子どもたち。身体をしっかりと動かすことも多かったですね。

筋肉痛、大丈夫でしたか？(笑)



## 年長組



家では甘えん坊で「未っ子感満載」ですが、幼稚園では別人でした。友だちと対等に会話し、意見を伝えたり、協力したりする姿を見て、集団生活の中で確かに成長していることを実感しました。お弁当を食べた後、外での遊びは、私もすっかり童心に帰りました。元気いっぱいの園児たちと、バナナ鬼や綱引きをして、子どもたちの体力とパワーに圧倒されつつもたくさんの笑顔と活力を分けてもらいました。幼稚園という集団生活の中で、子どもがのびのびと成長し、素晴らしい経験を積んでいることを確信できる1日でした。

最後の保育参加。息子はずっと私が来るのを楽しみにしてくれていて、嬉しかったです。一緒にお弁当を食べて、とても楽しい時間を過ごせました。外を走り回って、子どもたちは、本当に元気いっぱいですごいなぁと思いました。私はヘトヘトです(笑)帰り道、「オレ、今日頑張ったけえ！アイス買って～」なんて言っていました、「頑張ったのは私や…」と思っちゃいました(笑)



3年間、保育参加して、子どもの成長にびっくりしました。とにかく体力がすごい！ずっと動き回っていて…目で追うのがやっとでした。仲良しのお友だちがいて、ずっとべったり過ごすのではなく、自分の好きなところに行ったり、時々じゃれあったり、いい意味で距離を取っていて…。自然に集まったり、個々のしたいことをしたり、また戻ったり…素敵だなと思いました。お弁当の時間はとにかくべったり甘えてきて、「いつもは下の子がいて、寂しい思いをさせているんだな、本当は、まだこんなに甘えん坊さんなんだな…」と気づかされました。ボランティアさんのおかげで、何も気にせずすごせた、貴重な時間でした！



去年の保育参加の時の息子は、私が他の子と遊ぶことが気に入らなくて、終始、はぶてたまま過ごしたので(笑)今回も不機嫌にならないか心配していたんですが、今回はみんなで楽しく遊ぶことができ、心の成長が見えた瞬間がありました♡最後の保育参加、とてもいい思い出の時間になりました！



年中の時は、明確な目的なく遊ぶことが多く、ビオトープも興味なさげな感じでしたが、今や進んでビオトープへ行き、生き物を探していて…お友だちに刺激を受けたくましく成長したなぁと嬉しく思いました。入園したときは、虫が苦手だったので(親の私が苦手なので…)、どうか慣れてほしいと思っていました。お友だちの力ってすごいですね！

時計を用いて時間を意識されていること、早速我が家でも取り組んでみようと思います。特に、食事に関して、食べきるまでダラダラ食べさせていたので何か改善のきっかけになったらいいなと思います。他の保護者の方も言われていたように、自分たちで考え、どう行動するか、親の私が先に示しがちだったので、ぐっと気持ちを抑えて、息子がどのように考えているのか、どのように感じて行動しているのかを見守ってみようと思いました！



※年長組最後の保育参加、もう年長…まだ年長…。保護者の方がいるからこそ見られる、[いつもとちょっと違う顔]が見られて、私たちも楽しかったです。我が子のことはもちろん、日頃の生活を共にしている、周りの子のことまで温かく見守り、支えてくださりありがとうございました。年長だからこそトラブルや、友だちとすごす中で心の葛藤…そこに寄り添い、思いをはせてくださっていることに感謝の思いでいっぱいです。これからも、子ども同士のかかわりだからこそ、生まれる気持ちや、子どもたちならではのやり取りを、ゆったりと支えていきたいと思います。2学期も残りわずか…[何気ない毎日]を大切にすごしていきたいです。